

一般社団法人日本形成外科学会専門医資格更新審査についての公示

2013年6月
 一般社団法人 日本形成外科学会
 理事長 川上 重彦
 専門医生涯教育委員会
 委員長 田中 嘉雄

日本形成外科学会は、2013年度専門医資格更新審査を日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則に基づいて下記の要領で実施いたします。

なお、専門医資格更新のための学術研修会の出席点数、学会発表点数および論文掲載点数などの「生涯教育基準点数」は日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則：施行細則・別表に記載されております。

また、専門医生涯教育制度細則第11条の改定により、『6年間180点の更新対象者』と『5年間150点の更新対象者』がございますので、下記更新者一覧を確認の上手続きを行っていただけますようお願いいたします。

1. 専門医資格更新審査が必要な方

本年度専門医資格更新審査申請が必要な方は、a) 2008(平成20)年4月1日に専門医更新を行った者、b) 2009(平成21)年4月1日に専門医資格を取得した者(専門医番号の上二桁が08の者)、他以下のc), d), e)に該当する方です。

なお、詳細は日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則ならびに施行細則をご確認下さい。

a) 【2008(平成20)年4月1日専門医資格更新者】(6年間180点)

細則第4章：第11条の規定による有資格者(2度目・3度目の更新対象者)・敬称略

阿部 直樹	飯田 直成	石原 剛	磯野 伸雄	市野 直樹	一瀬 晃洋
井手 裕	伊東 信久	伊藤 文人	井上 淳	今井 香織	岩切 致
鵜飼 潤	宇津木龍一	江崎 茂	江副 京理	大井 克之	大木更一郎
大久保 麗	大谷 謙太	大塚 佳子	大野 正浩	大場 創介	岡崎 正
小川祐一郎	奥田 裕章	加地 展之	片平 次郎	勝又 純俊	加藤 久和
門松 香一	兼森 良和	鎌田 聡	亀井 讓	川添 剛	河田 真作
北村理絵子	北山 稔大	木村 哲治	木村 裕明	久島 英雄	栗本沙里奈
栗谷川 彰	桑原 理充	小泉 正樹	近藤加代子	今野みどり	斉藤康太郎
酒井 規	坂本 泰輔	佐々木雄史	佐瀬 道郎	佐武 利彦	篠山 美香
島田 茂孝	下田 勝巳	下間亜由子	鈴木 健司	巢瀬 忠之	瀬渡 洋道
瀬野 久和	副島 宏美	高梨 真教	高濱 宏光	高山 敦子	竹内 章晃
武田 睦	竹野 巨一	田崎 公	館 正弘	田所 丈嗣	田中 聡
田中 早苗	棚橋 慎治	チータム倫代	千島 康稔	土屋 裕一	堤 清明
寺井 勉	寺田 伸一	富樫 真二	都甲 武史	中井 國博	中東 和彦
中村 健	中山 敏	夏井 裕明	西村 篤	西村 雄	西本 聡
野澤 竜太	橋田 直久	林 いづみ	林 博之	林 正康	原元 潮
日笠 壽	菱沼 茂之	姫路 完	福田 健児	福田 智	藤井 勝善
藤山 幸治	古川 雅英	古川 元祥	堀 直博	本多 孝之	前田 昌己

町野 重昭	松尾 光一	松尾 由紀	松倉 知之	水沼 雅齊	水野 貴史
宮田 信之	村上 正洋	毛利 麻里	元村 尚嗣	森田 昌宏	森戸 浩明
山口 素子	山崎 明久	山本 達	杠 俊介	横内 哲博	横山 明子
吉田 益喜	吉龍 澄子	吉村 圭	義本 裕次	輪湖 雅彦	渡部 功一
渡部 慎司					

b) 【2009（平成 21）年 4 月 1 日専門医資格取得者】（5 年間 150 点）

細則第 4 章：第 11 条の規定による有資格者（1 度目の更新対象者）・敬称略

青井 則之	青木 雅代	秋田 新介	足立 孝二	新井孝志郎	荒尾 直樹
荒川 篤宏	荒川 夏希	荒牧 典子	井内 友美	井口 有子	池野 由佳
石川 心介	石田 創士	市川 明子	市川 広太	伊藤 恵美	稲見 浩平
井上 啓太	入谷 哲司	遠所 瑞拡	王丸 陽光	太田 智之	大谷 秀和
大橋 正和	大山 文乾	岡田真衣子	岡本 仁	奥村 誠子	小栗 章子
小澤 剛	覚道奈津子	加地 竜士	檜村 勉	柏谷 元	加藤 幸也
金田 藤香	苅部 大輔	菅野 百合	工藤 勝秀	工藤 宏之	久保 一人
熊澤 憲一	五石 圭一	高津 州雄	小西 和人	小松 星児	小松竜太郎
雑賀 厚臣	酒井 新介	阪場 貴夫	坂本 道治	佐藤 英	佐藤 伸弘
佐藤 典子	柴田 知義	鈴木 理央	高木 信介	田口 梨江	武田 孝輔
舘 一史	田中 永紅	田中顕太郎	谷川 知子	冨塚 陽介	中里 公亮
長西 裕樹	中村 陽子	中森 大記	成田 圭吾	成瀬 栄美	新妻 克宜
丹羽 幸司	羽多野隆治	林田 健志	原田 雅奈	原田 美穂	伴 緑也
飛田 晶	一氏 俊世	平沢 千尋	平田 佳史	平野 由美	深澤 大樹
藤井 俊史	伏見 知浩	牧口 貴哉	牧野 太郎	増口 信一	松末 武雄
松本 洋	三上 誠	三島 吉登	南村 愛	三宅 省吾	宮田 美穂
宮本 英子	宮本 純平	村松 英俊	森田 勝	森本 訓行	矢加部 文
八木俊路朗	安村 恒央	矢野 智之	山口亜佐子	吉田 行貴	吉嶺 倫子
渡部 聡子	渡邊 敏之				

c) 細則第 4 章：第 13 条（例外規定）による有資格者

満 65 歳以上の専門医，名誉会員および特別会員については，資格更新に際し，5 年間の診療実績を審査する。

d) 細則第 4 章：第 12 条（本制度適応の留保）による有資格者

海外留学，病気その他委員会が妥当と認める理由があれば，その間その個人につき本制度の適応は留保される。なお，留保期間中の専門医資格は有するものとする。

注意：2009 年 1 月～2013 年 12 月までの 5 年間分の年間診療実績記録は専門医更新の 該当者全員ご提出いただくことになっております。

e) 2011 年・2012 年度の資格更新審査において不合格となった者，資格更新の留保未承認となった者，留保期間が切れた者，専門医資格更新申請未提出者

2. 専門医資格更新申請に必要な点数算定期間

【2009 年 4 月 1 日に専門医資格を取得した方（専門医番号の上二桁が 08 の方）】

2009 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日の 5 年間の学会出席，学会発表，論文などを細則第 14 条，第 15

条, 第 16 条に従って申請して下さい。

5 年間に出席・論文等を含めて 150 点をクリアしていれば, 対象期間内のすべての点数の申告は必要ありません。

また, 規程により, 5 年間に 3 回以上の日本形成外科学会学術集会または基礎学術集会への参加が必要です。

【それ以外の方 (2008 年 4 月 1 日に専門医更新を行った方等)】

2008 年 1 月 1 日~2013 年 12 月 31 日の 6 年間の学会出席, 学会発表, 論文などを細則第 14 条, 第 15 条, 第 16 条に従って申請して下さい。

6 年間に出席・論文等を含めて 180 点をクリアしていれば, 対象期間内のすべての点数の申告は必要ありません。

また, 規程により, 6 年間に 4 回以上の日本形成外科学会学術集会または基礎学術集会への参加が必要です。

3. 申請手続き方法

a. 学会事務局より 該当者へは 11 月中旬ごろ申請書類を送付いたしますが, お手元に届かない場合は下記の請求期間内に書面にて申請書類の請求をして下さい。

なお, 請求書面には『専門医資格更新書類請求』と朱書きして下さい。

《請求期間》2013 年 12 月 1 日 (日) ~12 月 16 日 (月)

b. 必要書類 (コピー 1 部を必ず手元に保管して下さい)

1) 日本形成外科学会専門医資格更新申請書。

2) 手引き添付の書式に準じた当該年間の実績記録。(書式見本をご参照下さい)

3) 学術集会 (関連学会, 研修会等) 出席の 本人が確認できる参加証明書 (コピー不可) または受講票, 学会発表該当部分のプログラムコピー等, および掲載論文別刷の表紙のコピー。

4) 2009 年 1 月~2013 年 12 月までの年間診療実績記録。(すでに日形会誌 28 巻 6 月号, 11 月号にてお知らせしておりますが, 年間診療実績記録を頂くことになっております) (会告最終頁をご参照下さい)

5) 審査更新料 30,000 円 (登録料 10,000 円を含む): 本委員会郵便振替口座へ振込んで下さい。(申請書類に同封する郵便振替用紙をご使用下さい)

なお, 満 65 歳以上の専門医は審査更新料の一部が減免されますので, 10,000 円をお振込み下さい。

以上, 一括して専門医生涯教育委員会宛に書留またはそれに準じる方法で送付して下さい。

c. 書類提出期間

2013 年 12 月 10 日 (火) ~2014 年 1 月 15 日 (水) 【必着】

d. 提出先

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 階

一般社団法人 日本形成外科学会・専門医生涯教育委員会 宛

4. 専門医更新審査の時期と結果通知について

2014 年 1 月下旬~2 月初旬に実施。審査結果は理事長に報告し理事長の承認のもと, 2014 年 3 月 31 日までに認定証を送付する予定です。

別表 専門医資格更新のための生涯教育基準点数

項目	点数	項目	点数
学術研修会出席			
日本形成外科学会 学術集会	15	日本頭頸部癌学会 *旧：日本頭頸部腫瘍学会	6
日本形成外科学会 基礎学術集会	15	日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会	6
国際形成外科学会	10	*2013 (H25) 年度開催分より承認	
各地区形成外科学会 学術集会	8	日本熱傷学会	6
*関東形成外科学会は3月開催の東京地方会がこれに該当		日本皮膚悪性腫瘍学会	6
国際形成外科学会アジア太平洋地区会議 [IPRAS・APS]	8	*2004 (H16) 年度開催分より承認	
国際口蓋裂学会	8	日本美容外科学会 [JSAPS]	6
国際手外科学会	8	*総会・学術集会は6点、学術集会のみの場合は3点	
国際頭蓋顔面外科学会	8	日本マイクロサージャリー学会	6
国際熱傷学会	8	日本臨床皮膚外科学会	6
国際美容外科学会	8	日本レーザー医学会	6
国際マイクロサージャリー学会	8	*2011 (H23) 年度開催分より6点承認	
世界創傷治癒学会連合学会	8	2008 (H20) 年度～2010 (H22) 年度開催分は4点で承認	
*2012 (H24) 年度開催分のみ承認		関連学会研修会	4
東洋美容外科学会 [OSAPS]	8	日本医師会生涯教育講座	4
*2010 (H22) 年度開催分より承認		複数施設の合同研究会	3
日韓国際形成外科学会	8	その他特に委員会が認めたもの	一覧表参照
日中形成外科学術交流会	8	学会発表	
その他の国際形成外科学会	8	日本形成外科学会 講習会 (講師)	8
*アジア太平洋地区、ヨーロッパ地区など		日本形成外科学会 学術集会	8
各国の形成外科学会総会	8	(特別講演、教育講演)	
各地区形成外科学会 下部組織の地方学会・地方会	6	関連学会	8
*旧称：北陸地方会、東海地方会など		(特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション)	
日本形成外科学会 学術講習会	6		
日本医学会総会	6		筆頭 共同 (2名まで)
日本救急医学会	6	日本形成外科学会	6 2
日本形成外科手術手技学会	6	国際形成外科学会	6 2
*旧：日本形成外科手術手技研究会		委員会承認の関連国際学会	6 2
2010 (H22) 年度開催分より6点で承認		委員会承認の関連学会	3 1
1996 (H8) 年度～2009 (H21) 年度開催分は3点で承認		各地区形成外科学会 学術集会	3 1
日本口蓋裂学会	6	各地区形成外科学会 地方会	3 1
日本再生医療学会	6	論文・原著・著書掲載誌	
*2013 (H25) 年度開催分より承認		日本形成外科学会 会誌	12 3
日本職業・災害医学会	6	雑誌：形成外科 *克誠堂出版 発行	12 3
日本褥瘡学会	6	委員会承認の関連学会誌	12 3
日本先天異常学会	6	外国で発行の形成外科専門誌	12 3
日本創傷外科学会	6	関連著書	12 3
日本創傷治癒学会	6	(学術的なもの、医家向けのもの)	
日本手外科学会	6	その他の学術雑誌	8 2
日本頭蓋顔面外科学会	6		
日本頭蓋底外科学会	6		

委員会承認の関連学会・研修会ならびに国際学会と所定点数一覧

50 音順	項目	出席		発表			承認期間 (空欄は承認期間の制限無 但し、算定期間の5又は6年間の 期間内であることは必須)
		研究会など 学術集会・	研修会	筆頭	(2名まで) 共同	特別講演、教育講演、 シンポジウム、 パネルディスカッション	
ア	青森形成外科医会	3	-	-	-	-	2002 (H14) /4/1~2007 (H19) /3/31
	旭川手の外科を考える会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
イ	茨城形成外科研究会 *旧：茨城県北形成外科研究会	3	-	-	-	-	2003 (H15) /4/1~
エ	AOCMF フォーカストワークショップ *旧：AOCMF スタートワークショップ	3	-	-	-	-	2012 (H24) /4/1~
	AOCMF プリンシプルコース	4	-	-	-	-	2012 (H24) /4/1~
オ	愛媛形成外科研修会	3	-	-	-	-	2001 (H13) /4/1~
	大分形成外科懇話会	3	-	-	-	-	1992 (H4) /4/1~
	大阪形成外科医会	3	-	-	-	-	1995 (H7) /4/1~
	大阪形成外科集談会	3	-	-	-	-	1991 (H3) /4/1~2009 (H21) /3/31
	大阪市形成外科集談会	3	-	-	-	-	2003 (H15) /4/1~2007 (H19) /3/31
	大阪マイクロサージャリー研究会	3	-	-	-	-	2002 (H14) /4/1~
	岡山形成外科医会 *旧：岡山形成外科懇話会	3	-	-	-	-	1991 (H3) /4/1~
	岡山創傷治癒研究会	1	-	-	-	-	2013 (H25) /4/1~
	沖縄形成外科研究会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
カ	各国の形成外科学会総会	8	4	6	2	8	
	神奈川県形成外科症例検討会	3	-	-	-	-	1991 (H3) /4/1~
	眼瞼・義眼床手術研究会	4	-	3	1	-	1991 (H3) /4/1~
キ	北里形成外科フォーラム	3	-	-	-	-	2001 (H13) /4/1~
	九州昭和大学同門会 学術集会	3	-	-	-	-	2000 (H12) /4/1~
	京大形成外科集談会	3	-	-	-	-	1997 (H9) /4/1~
	京都形成外科医会	3	-	-	-	-	1995 (H7) /4/1~2012 (H24) /3/31
	京都形成外科医会	1	-	-	-	-	2012 (H24) /4/1~
	近畿手の外科症例検討会	3	-	-	-	-	2003 (H15) /4/1~2010 (H22) /3/31
	近畿手の外科症例検討会	1	-	-	-	-	2010 (H22) /4/1~
ク	Craniosynostosis 研究会	4	-	3	1	-	2009 (H21) /4/1~
ケ	慶應義塾大学形成外科同門会 学術集会	3	-	-	-	-	1999 (H11) /4/1~
	京滋手の外科・末梢神経セミナー	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
	形成外科新宿フォーラム	3	-	-	-	-	2007 (H19) /4/1~
	形成外科臨床会	3	-	-	-	-	1991 (H3) /4/1~2012 (H24) /3/31
	形成外科臨床会	1	-	-	-	-	2012 (H24) /4/1~
	KC 会	3	-	-	-	-	2001 (H13) /4/1~
	血管腫・血管奇形研究会	3	-	-	-	-	2008 (H20) /4/1~
コ	高知県形成外科医会	3	-	-	-	-	2005 (H17) /4/1~
	神戸形成外科集談会	3	-	-	-	-	2013 (H25) /4/1~
	郡山形成外科研究会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
国際	ケ 国際形成外科学会	10	4	6	2	8	
	国際形成外科学会アジア太平洋地区会議 [IPRAS・APS]	8	-	6	1	-	2009 (H21) /4/1~
	コ 国際口蓋裂学会	8	4	6	2	8	
	シ 国際シミュレーション外科学会	6	-	3	1	-	2005 (H17) /4/1~
	テ 国際手外科学会	8	4	6	2	8	
	ト 国際頭蓋顔面外科学会	8	4	6	2	8	
	ネ 国際熱傷学会	8	4	6	2	8	
	ビ 国際美容外科学会	8	4	6	2	8	

50音順	項目	出席		発表			承認期間 (空欄は承認期間の制限無 但し、算定期間の5又は6年間の 期間内であることは必須)
		研究会など・ 学術集会	研修会	筆頭	(2名まで) 共同	特別講演、教育講演、 シンポジウム、 パネルディスカッション	
	国際美容外科学会 教育講習会	8	-	6	2	-	1991 (H3) /4/1~
マ	国際マイクロサージャリー学会	8	4	6	2	8	
	その他の国際形成外科学会 *アジア太平洋地区、ヨーロッパ地区など	8	4	6	2	8	
サ	埼玉手の外科研究会	3	-	-	-	-	2004 (H16) /4/1~
	札幌形成外科研究会 *旧：札幌合同症例検討会	3	-	-	-	-	2008 (H20) /4/1~
	山陰形成外科懇話会	3	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
シ	四国マイクロサージャリー研究会	3	-	-	-	-	2001 (H13) /4/1~2009 (H21) /3/31
	静岡手の外科・マイクロサージャリー研究会	3	-	-	-	-	2002 (H14) /4/1~
	静岡県形成外科医会 *旧：静岡形成外科懇話会	3	-	-	-	-	1993 (H5) /4/1~
	昭和大学形成外科同門会 学術集会	3	-	-	-	-	1994 (H6) /4/1~
	新宿熱傷フォーラム *旧：四施設熱傷研究会	3	-	-	-	-	2000 (H12) /4/1~
セ	世界創傷治療学会連合学会	8	-	6	2	-	2012 (H24) /9/2~2012 (H24) /9/6
タ	多摩形成外科症例検討会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
チ	千葉県形成外科研究会	3	-	-	-	-	2001 (H13) /4/1~
	中部日本手外科研究会	3	-	-	-	-	2002 (H14) /4/1~
ツ	筑波大学形成外科同門会	3	-	-	-	-	2010 (H22) /4/1~
ト	東海頭蓋底外科研究会	3	-	-	-	-	2000 (H12) /4/1~
	東海マイクロサージャリー研究会	3	-	-	-	-	1995 (H7) /4/1~2012 (H24) /3/31
	東海マイクロサージャリー研究会	1	-	-	-	-	2012 (H24) /4/1~
	東京医科歯科大学形成外科集談会	3	-	-	-	-	2008 (H20) /4/1~
	東京大学形成外科同門会 学術集会	3	-	-	-	-	1991 (H3) /4/1~
	東北大学形成外科同門会 学術集会	3	-	-	-	-	1995 (H7) /4/1~
	東北マイクロサージャリー懇話会	3	-	-	-	-	1997 (H9) /4/1~
	東洋美容外科学会	8	-	6	2	-	2010 (H22) /11/1~
	徳島形成外科集談会	3	-	-	-	-	1998 (H10) /4/1~
	とちぎ形成外科懇話会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
ナ	長崎形成外科懇話会	3	-	-	-	-	1991 (H3) /4/1~
	奈良形成外科研究会	1	-	-	-	-	2013 (H25) /4/1~
ニ	西新宿形成外科フォーラム	3	-	-	-	-	2012 (H24) /4/1~
	西中国形成外科研修会	3	-	-	-	-	1992 (H4) /4/1~
	日韓国際形成外科学会	8	-	6	2	-	1991 (H3) /4/1~
	日中形成外科学術交流会	8	-	6	2	-	1991 (H3) /4/1~
日本	イ 日本医学会総会	6	4	3	1	8	
	日本医師会生涯教育講座	4	-	-	-	-	
ガ	日本顔面神経研究会	3	-	-	-	-	2010 (H22) /4/1~
キ	日本救急医学会	6	4	3	1	8	
ケ	日本形成外科学会 学術集会	15	-	6	2	8	
	日本形成外科学会 基礎学術集会	15	-	6	2	8	
	日本形成外科学会 春季および秋季学術講習会	6	-	(講師)8	-	-	
	日本形成外科学会 支部学術集会 *関東支部は3月開催の東京地方会がこれに該当	8	-	3	1	8	~2013 (H25) /3/31
	日本形成外科学会 地方会 *北海道地方会、東北地方会、新潟地方会、東京地方会、 北陸地方会、信州地方会、東海地方会	6	-	3	1	8	~2013 (H25) /3/31

50 音順	項目	出席		発表			承認期間 (空欄は承認期間の制限無 但し、算定期間の5又は6年間の 期間内であることは必須)
		研究会など ・ 学術集会	研修会	筆頭	(2名まで) 共同	パネル ディスカッション 、 特別講演、教育講演、 シンポジウム	
	各地区形成外科学会 学術集会 * 関東形成外科学会は3月開催の東京地方会がこれに該当	8	-	3	1	8	2013 (H25) /4/1~
	各地区形成外科学会 下部組織の地方学会・地方会 * 旧称：北陸地方会、東海地方会など	6	-	3	1	8	2013 (H25) /4/1~
	日本形成外科手術手技学会 * 旧：日本形成外科手術手技研究会	3	-	-	-	-	1996 (H8) /4/1~2010 (H22) /3/31
	日本形成外科手術手技学会 * 旧：日本形成外科手術手技研究会	6	4	3	1	8	2010 (H22) /4/1~
ゲ	日本外科系連合学会	4	-	3	1	-	1993 (H5) /4/1~
コ	日本口蓋裂学会	6	4	3	1	8	
	日本抗加齢医学会	4	-	3	1	-	2009 (H21) /4/1~
サ	日本再生医療学会	6	4	3	1	8	2013 (H25) /4/1~
シ	日本シミュレーション外科学会 * 旧：日本コンピュータ支援外科学会	4	-	3	1	-	1992 (H4) /4/1~
	日本職業・災害医学会	6	4	3	1	8	
ジ	日本褥瘡学会	6	4	3	1	8	
	日本褥瘡学会 九州地方会	3	-	3	1	-	2007 (H19) /4/1~
	日本褥瘡学会 中国・四国地方会	3	-	3	1	-	2001 (H13) /4/1~
	日本褥瘡学会 中部地方会	3	-	3	1	-	2004 (H16) /4/1~
	日本褥瘡学会 東北地方会	3	-	3	1	-	2008 (H20) /4/1~
	日本褥瘡学会 北海道地方会	3	-	3	1	-	2003 (H15) /4/1~
セ	日本先天異常学会	6	4	3	1	8	
ソ	日本創傷外科学会	6	4	3	1	8	2009 (H21) /4/1~
	日本創傷治癒学会	6	4	3	1	8	
テ	日本手外科学会	6	4	3	1	8	
ト	日本頭蓋顎顔面外科学会	6	4	3	1	8	
	日本頭蓋底外科学会	6	4	3	1	8	
	日本頭頸部腫瘍学会 * 旧：日本頭頸部腫瘍学会	6	4	3	1	8	
ニ	日本乳癌学会	4	-	3	1	-	1993 (H5) /4/1~
	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	6	4	3	1	8	2013 (H25) /4/1~
ネ	日本熱傷学会	6	4	3	1	8	
	日本熱傷学会 関東地方会	3	-	3	1	-	1997 (H9) /4/1~
	日本熱傷学会 九州地方会	3	-	3	1	-	1991 (H3) /4/1~
	日本熱傷学会 近畿地方会	3	-	3	1	-	1993 (H5) /4/1~
	日本熱傷学会 甲信地方会	3	-	3	1	-	1997 (H9) /4/1~
	日本熱傷学会 中国・四国地方会	3	-	3	1	-	1992 (H4) /4/1~
	日本熱傷学会 東海地方会	3	-	3	1	-	1996 (H8) /4/1~
	日本熱傷学会 東北地方会	3	-	3	1	-	1997 (H9) /4/1~
	日本熱傷学会 北陸地方会	3	-	3	1	-	1997 (H9) /4/1~
	日本熱傷学会 北海道地方会	3	-	3	1	-	2001 (H13) /4/1~
バ	日本バイオマテリアル学会	4	-	3	1	-	1996 (H8) /4/1~
ヒ	日本皮膚悪性腫瘍学会	6	4	3	1	8	2004 (H16) /4/1~
ビ	日本美容外科学会 [JSAPS] * 総会・学術集会は6点、学術集会のみの場合は3点	6	4	3	1	8	
マ	日本マイクロサージャリー学会	6	4	3	1	8	
	日本末梢神経学会	3	-	3	1	-	2009 (H21) /4/1~

50 音順	項目	出席		発表			承認期間 (空欄は承認期間の制限無 但し、算定期間の5又は6年間の 期間内であることは必須)
		研究会など	研修会	筆頭	(2名まで) 共同	特別講演、教育講演、 シンポジウム、 パネルディスカッション	
リ	日本臨床皮膚外科学会	6	4	3	1	8	
	日本臨床毛髪学会	3	-	3	1	-	2010 (H22) /4/1~
レ	日本レーザー医学会	4	-	3	1	-	2008 (H20) /4/1~2011 (H23) /3/31
	日本レーザー医学会	6	4	3	1	8	2011 (H23) /4/1~
ハ	瘢痕・ケロイド治療研究会	4	-	3	1	-	2009 (H21) /4/1~
ビ	PRP(多血小板血漿)療法研究会	4	-	3	1	-	2012 (H24) /4/1~
ヒ	東日本手外科研究会	3	-	3	1	-	2011 (H23) /4/1~
	兵庫県形成外科医会	3	-	-	-	-	1993 (H5) /4/1~2009 (H21) /3/31
	兵庫県形成外科医会研究会	3	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
	広島マイクロサージャリー講習会	3	-	-	-	-	1998 (H10) /4/1~2007 (H19) /3/31
ビ	備後形成外科医会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
フ	福島県形成外科研究会	3	-	-	-	-	2008 (H20) /4/1~
	複数施設の合同研究会	3	-	-	-	-	
ホ	北大形成外科アカデミー	1	-	-	-	-	2013 (H25) /4/1~
	北陸手外科研究会	3	-	-	-	-	1997 (H9) /4/1~
	北海道形成外科フォーラム “北の大地”	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
	北海道頭頸部腫瘍研究会	3	-	-	-	-	2007 (H19) /4/1~
マ	末梢神経を語る会	1	-	-	-	-	2011 (H23) /4/1~
ミ	宮城県形成外科懇話会	3	-	-	-	-	1992 (H4) /4/1~
ヤ	谷根千形成懇話会	3	-	-	-	-	2013 (H25) /4/1~
	山形形成外科懇話会	3	-	-	-	-	1998 (H10) /4/1~
ヨ	横浜形成外科フォーラム	3	-	-	-	-	2003 (H15) /4/1~

(様式1)

実績記録(書式見本)

申請者氏名 _____

学会出席・学会発表 [2008 (H20) /1/1~2013 (H25) /12/31]

西暦 年 月 日	学会名(研修会, 教育講演など)	[開催地]	実績点数
2008.4.9-11	第51回日本形成外科学会 総会・学術集会 同上: 一般演題発表(第二共同演者)【プログラムコピー添付】	[名古屋]	15 2
2008.6.28-29	第34回日本熱傷学会総会	[名古屋]	6
2008.7.5	第254回日本形成外科学会 関東支部東京地方会		6
2008.10.2-3	第17回日本形成外科学会 基礎学術集会	[東京]	15
		2008年	小計 44点
2009. ● . ●			
		2009年	
2010. ● . ●			
		2010年	
2011. ● . ●			
		2011年	
2012. ● . ●			
		2012年	
2013. ● . ●			
		2013年	
6年間総計			186点

※上記は6年更新該当者用の実績記録です。5年更新該当者は2009(H21)年からの実績記録を提出して下さい。

形成外科診療実績記録はホームページよりダウンロードが可能です。
http://www.jsprs.or.jp/member/application_forms/#title04
 HOME > 会員の方へ > 申請書類 > 4. 形成外科実績記録(更新申請)

(様式2)

実績記録(書式見本)

申請者氏名 _____

論文(原著, 総説, 症例報告, 著書等) [2008 (H20) /1/1~2013 (H25) /12/31]

発行年. 月	著者名	論文題名, 掲載誌, 巻: ページ	実績点数
2008.12	菅原康志 波利井清紀	3次元 CT 画像での測定における再現性の検討. 日形会誌, 25:12	12
		2008 年度	小計 12 点
2009.10	皆川次郎	Tissue expansion 手術. 形成外科手術手技シリーズ: 皮膚表面外科, 大浦武彦編, p.151, 克誠堂	12
		2009 年度	小計 12 点
2010. ●			
2011. ●			
2012. ●			
2013. ●			
6 年間総計			24 点

※上記は 6 年更新該当者用の実績記録です。5 年更新該当者は 2009 (H21) 年からの実績記録を提出して下さい。

形成外科診療実績記録はホームページよりダウンロードが可能です。

http://www.jsprs.or.jp/member/application_forms/#title04

HOME > 会員の方へ > 申請書類 > 4. 形成外科実績記録 (更新申請)

形成外科診療実績記録 (書式見本)

申請者氏名 _____

診療実績 [2009 (H21) /1/1~2013 (H25) /12/31]

期間	診療を行った施設名： 所在地	勤務の態様 (常勤・非常勤)	外来担当日数： 1日の患者数(平均)	手術件数 (月平均)	手術以外の治療 内容と件数 (月平均)
				5年間の合計 約 件	5年間の合計 約 件

※年度別に勤務先ごとに罫線で分けて記入して下さい。

※欄が不足する場合にはコピーして使用して下さい。

形成外科診療実績記録はホームページよりダウンロードが可能です。
http://www.jsprs.or.jp/member/application_forms/#title05
 HOME > 会員の方へ > 申請書類 > 5. 年間診療実績記録 (更新申請)